

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2021

7月号  
vol.660

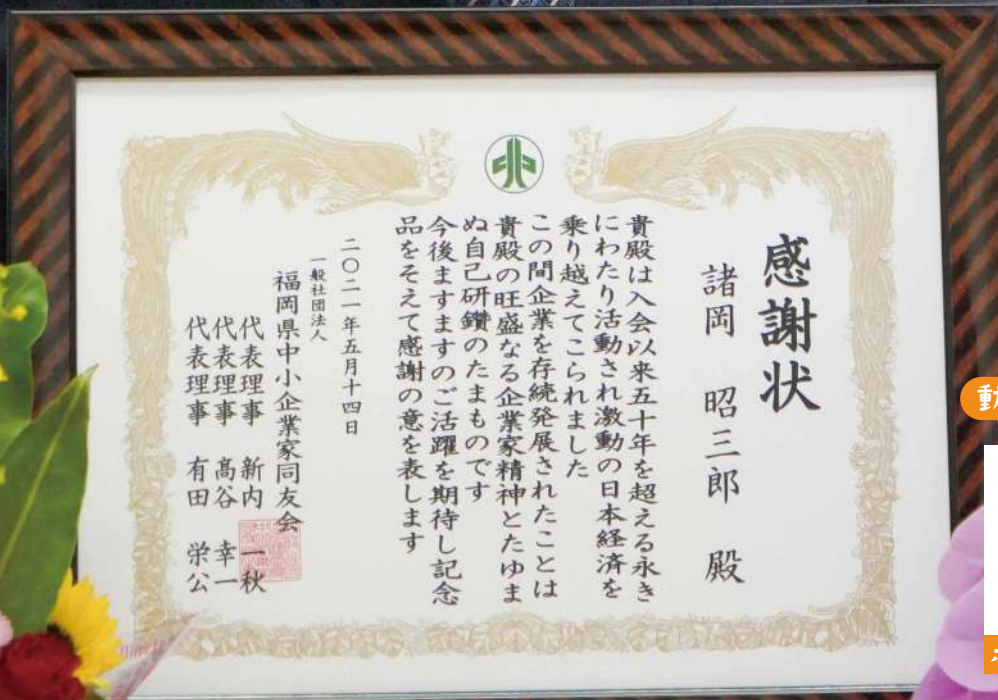
月刊

# 同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

第59回定時総会 2021年度運動方針



動画も観れます



ポケット月刊同友



2020年度  
運動総括

知恵と力を出し合い、  
この難局を乗り越えよう！

2020年度は年頭からの新型コロナウイルス感染症の影響によりかつて経験したことのない状況下でのスタートとなりました。最初に発生が確認されたことのない状況下でのスタートとなりましたが、福岡県でも2回目の緊急事態宣言が発令されるなど、いまだ収束の見通しは立たない状況で、会員企業は業種や地域を問わず、様々な影響を受けています。そのような中でも、資金を手当てし、雇用を守り、事業の立て直しと新たな仕事を創り出す会員の姿があります。福岡同友会では、一社もつぶさない活動を進め、活動を止めないことを合言葉に、活動の在り方を模索してきました。感染状況に左右されながらも、各組織の役員と会員による創意工夫で学びの場、経営課題解決の場をつくり続けてきました。異例づくめの1年でしたが、新たな会活動に取り組み、多くの可能性を発見することもできました。本年度の経験を踏まえてWithコロナ、Afterコロナの中で会活動をさらに進めていく必要があります。2020年度の活動を振り返ると、以下のような特徴があります。

2020年度の活動の特徴

- 1 感染症対策情報の随時発信、事業継続と雇用の維持を支える**

2019年度後半に引き続き、感染症対策に関するお知らせをメールやFAXで配信し、事業の継続と雇用の維持を最優先に、全社員と課題を共有し、「全社一丸」を呼び掛けました。景況調査等の結果では、緊急融資も活用し、会員は概ね資金は確保されているようですが、当初の予測以上に長期化するコロナ禍でこの先の資金の手当てが課題となると思われます。また、景況調査等からも経営指針の取り組みが進んでいないことが明らかになっています。さらに、経営指針の見直しと実践が強く求められます。
- 2 Webを活用した会議や例会の開催**

Webを活用した会議やハイブリット型の例会・勉強会を開催するなど、各組織の役員と会員による創意工夫で学びの場を設営し、経営課題解決の場をつくり続けてきました。このようにリモートでの開催により、今まで参加できなかった会員の参加が増える一方で情報ツールを使いこなせていない会員への配慮が求められます。
- 3 ブロック会が開催できなかったケースも**

Webを活用した例会・勉強会が開催された一方で、計画されていた勉強会や知る会などが開催できないケース、支部によってはブロック会が開催できないことなどがありました。学びの場と質を担保するために、その実態を把握し、ハードとソフト両面からの対応が必要です。
- 4 一社もつぶさないプロジェクトスタート！会員同士の信頼と連携を深める礎へ**

一社もつぶさないプロジェクトがスタートし、会員各社が持つ商品やサービスを相互に生かすことのできる会員ネットワークとして、「Doyuみんなの商店街」「どゆなび」「DoyuPay」を構築し活用が始まりました。今後さらに同友会理念に基づく会員同士の信頼関係のもと、会員間の信頼関係と連携を深める礎として育てていきましょう。
- 5 永久劣後ローン融資制度の実現を求める署名、請願・陳情活動**

永久劣後ローン融資制度創設に向けて、推進本部を立ち上げ、署名活動と福岡県内市町村議会へ制度創設に向けた国への意見書提出の採択を求めて請願・陳情活動を行いました。制度創設の実現のために全国運動への展開が必要になります。



同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

MORO企画 代表 諸岡昭三郎さん(ひびき支部)



撮影・文／株式会社コスイメージ  
富谷正弘(玄海支部)

今月の表紙写真は会歴50年表彰を受けられた、諸岡昭三郎さんを北九州市にお尋ねして撮影いたしました。

諸岡さんは昭和三年生まれの93歳で福岡同友会の大先輩です。

先日の定時総会(嘉穂劇場(飯塚市))で会歴50年表彰を受ける予定でしたが、緊急事態宣言のため、リモート開催となりました。

笑顔の素敵な元気の諸岡さん。福岡同友会では代表理事を2回お務めになり、同友会の礎を築かれた、企業家精神あふれ、同友会の歴史を語る上でなくてはならない存在です。

同友会歴50年おめでとうございます。次は60年ですね。

いつまでもお元気で!



※写真撮影のためマスクははずしています



【企業】くわい

1 資金の確保と実践

成果 事務局からの早急な情報配信、各地区・支部での声掛けにより、当面の資金確保が進み、資金難の声はほとんどなくなりました。数か月で課題が解決できたことは大きな成果です。

景況感DI	-36.9
利益DI	-42
経営上の課題(借入れ難)	アンケート回答数の3% 課題15位
経営上の課題(金利負担の増加)	アンケート回答数の0.7% 課題17位

課題 元金返済が開始されることを踏まえて経営指針書の見直し、資金繰り計画の再構築が急務となります。

2 役割と責任

成果 事務局よりリアルタイムで施策取組情報を送り、必要とする企業は、すでに取組みや新たな事業がスタートしています。

課題 緊急時に即対応できるBCPを策定するなど、事前に課題を想定し準備することも進めていく必要があります。

3 社員への権限移譲

成果 社員の自主的な行動による多くの実

践報告がありました。社内の役割分担、早いPDCA、異業種連携などが成果となりました。

課題 幅広く学び、総合実践している会員は、社会変化にいち早く対応できることが分かりました。

4 先を見通す力

成果 経営労働委員会では、IT部会と共に合同例会を開催しました。あすなろ塾をZoomで開催することにより、遠隔地同士の合同あすなろ塾も成功しました。経営指針作成セミナーも無事開催でき、コロナの影響で特に経営指針書の見直しが重要となりました。松井清充氏(中同協専任講師)による情勢勉強会を開催しました。

課題 具体的な取り組み事例を多く集め、一覧にし、情報の配信共有が必要となっています。

5 PDCA

成果 共有委員会の幹部研修では、改善を繰り返す風土ができるための研修を行い、さらに3月にも社員とともにPDCAが回せるようになるための研修を行いました。社会人例会やリーダー研修では、開催をZoomに切り替え、テレワーク中の社員さんが自宅から参加する画期的な研修となりました。

課題 社員さんが自宅から参加するオンライン研修では、通信費や器材のスペック等の課題が発生しています。

6 学びを止めない

成果 2020年4〜12月の支部例会開催数は151回(参加人数延4221名、参加率22%)でした。4月はコロナの影響で例会が中止になったものの、5月以降はZoomなどのウェア利用により早期再開ができました。県主催の例会・勉強会数は29回と、開催が大きく減りましたが、夏頃から活動が再開しました。BCPをテーマにした支部例会は2回、コロナをテーマにした支部例会は33回開催されました。

共同求人委員会による新入社員合同入社式は中止しましたが、同友会初となるオンライン合同企業説明会(参加企業11社)を開催し、2回目は自社からのオンライン参加が実現。新入社員研修においても初のZoom開催となりました。バリアフリー委員会では事前に施設にて動画撮影をし、Zoomにて動画を見ながら、見学会を開催しています。「マナーブック」の改訂を人を生かす経営推進本部の4委員会が体となって取り組みました。

課題 Afterコロナでの自社経営を考える機会を増やす必要があります。制限された中でいかに会員へ伝えるかが課題です。

【地域】くわい

1 地域経済を支える中小企業の誇りをもって、事業継続と雇用維持のため声を上げよう

成果 福岡県商工部との意見交換会を開催し、それぞれの地域での役割を果たすべく協力していくことを確認しました。永久劣後ローン推進本部を設置し、7月より署名サイトと用紙による署名活動と意見書提出の請願・陳情活動を行いました。福岡県内12自治体の議会で意見書提出が採択されました。8月27日に情勢勉強会を開催しました。

課題 福岡県に毎年10月までに政策要望提言書を提出する必要があります。永久劣後ローン創設署名運動は全県的に理解を広める必要があり、全国各地同友会との連携が課題です。

2 中小企業憲章の精神を深め、中小企業振興基本条例の制定と活用を

成果 糸島市において福岡県内で理念型条例では12件目となる、中小企業振興基本条例が令和2年12月22日に公布施行されました。7月20日に「中小企業の日」中小企業魅力発信月間勉強会を開催しました(報告者・堀弘道氏(田川支部 地域づく

り副本部長)。

課題 条例制定にむけた動きが不十分でした。田川市は8月より産業振興会議が行われました。この事例をいかに他地域の条例制定と活用につなげていくかが課題です。

3 行政や教育機関との関係づくりと連携を

成果 福岡県商工部との意見交換会では、十分な意見交換を行うことができました。福岡市・福岡商工会議所と共に「小規模持続化補助金」を活用した事例研究の学習会を実施しました。

課題 毎年継続した政策要望提言書の提出により、課題やテーマの継続討議を行うことが課題です。コロナ禍で対外活動が部できず、この状況下での行政や教育機関との関係づくりのあり方を模索する必要があります。

4 金融機関やマスコミとの関係づくりと連携を

成果 報道記者懇談会(新製品サービス会員企業発表会)を開催しました。永久劣後ローン創設署名活動や社もつぶさないプロジェクトの記者発表会を開催しました。マスコミの取材に都度対応しました。

課題 コロナ禍での懇談や連携の研究が必要で、福岡県内信用金庫との提携ローンの再開を予定したいと考えています。

5 地域循環力の強化を追求しよう

成果 環境経営委員会でエネルギーの地産地消、SDGs・持続可能な地域づくりについての学習会を開催しました。会員による地域電力の取り組みや地域資源を活用したCLT建築など具体的な事業活動が行われています。

課題 持続可能な地域づくりと仕事づくりの活動が広がらず、会員にいかんにか伝えるかが課題です。

6 会員企業の景況調査分析と会内外への発信の強化

成果 第112回〜第115回会員景況調査を実施し、調査結果の集計と分析を行いました。理事会での報告や会員への公開を行うとともに、福岡財務支局や福岡県商工部、マスコミ懇談会等で会員の声を発信しました。また、コロナ禍であっても会員の声を届けるため、ウェブでの記者発表を行いました。新型コロナウイルス感染症等緊急アンケートを実施し、結果集計と分析を行い、資金調達などを会員に呼びかけました。

課題 景況調査の回答数が300件程度(回答率13%)として低調で、回答数を増やさなければなりません。コロナ禍での対外広報の場づくり、発信の仕方を早急に研究することが必要です。



中小企業憲章研修会



社員例会



「中小企業の日」中小企業魅力発信月間勉強会



1社もつぶさないプロジェクト





### 【同友会へへへ】

#### 1 役員育成の強化

**成果** 研修本部の位置づけと役割を協議し、研修の体系化の協議を進めました。各組織の役員研修で使う資料として、「福岡同友会の活動の手引き」を配布しました。昨年引き続き経営者基礎講座を開催しました。ウェブを活用し、4講を3講にまとめるなどして、感染防止と学びの両立をはかりました。役員のための特別講座を開催しました。新会員フォローアップセミナーをZoom併用で開催しました。

**課題** 役員研修大学の企画・実施を行うことが必要です。

#### 3 会員企業の実態把握と対外広報の強化

**成果** ソーシャルメディアガイドラインとSNS利用ガイドブックを策定しました。記者懇談会を開催し、会員企業の事業発表を行い、広報に繋がりました。福岡同友会ホームページのリニューアルに向けて取り組みを進めました。様々な行政からの施策の情報をe・d・o・y・uの掲示板等で配信しました。

**課題** 会員企業の実態調査のアンケートの回収をさらに進める必要があります。

#### 4 財政の健全化

**成果** コロナの影響で、緊急の支出が発生しましたが、会議会合がウェブ開催となったため、会場費の支出の減少等もあり、乗り切りました。会費回収率の向上の取り組みを行い、未収額を減少することができました。

**課題** 今年度同様に、予算の執行状況を注視する必要があります。

#### 5 事務局機能の強化と職場環境の改善

**成果** リモートワークの実施や、雇用調整

たゲストに対する入会までのフォローの動きの情報共有が必要となります。

#### 6 新たなビジョンの策定

**成果** 全支部から寄せられた意見を基に、ビジョン特別委員会での協議を経て「2030ビジョン」を作成しました。

**課題** 2021年度は2030ビジョンの発信となりますので会全体で共有することが大切です。

#### 7 災害への対応準備

**成果** 特別積立金の必要額等の再検討を始めました。

**課題** 自然災害だけでなく感染症などの発生も含めた対策を考える必要があります。

#### 8 福岡同友会60周年にむけて

**成果** 今までの周年行事の資料等を集め、準備に取り組みました。

**課題** 体制づくりから始め、企画を立てていくことが必要です。



例会活性化研修会

報道機関記者懇談会

### 永年会員表彰

(入会順・敬称略)

#### 会歴50年に達した会員(1名)

諸岡昭三郎	MORO企画	ひびき
-------	--------	-----

#### 会歴30年に達した会員(12名)

浦田 秀徳	ちくし法律事務所	筑紫
有吉 崇	一番食品(株)	飯塚
林田 達	(株)彩一いろいろ	東
富谷 正弘	(株)ココスイメージ	玄海

#### 会歴20年に達した会員(29名)

測上美保子	サインエフェクト(株)	福友
梅野 丈博	若松通信	ひびき
時枝 訓子	(株)コミブラ	博多
小椋 一子	小椋社会保険労務士事務所	玄海
畠中五恵子	(有)畠中育雛場	飯塚
入江 和彦	(株)KRC	東
宮城 泰治	(株)イワイ工業	北九州
兼光 一輔	(有)宮本旗店	北九州
金森 信吾	(有)バン・ド・ミー	大牟田
前田 雅史	株式会社お掃除でつくるやさしい未来	中央

#### 会歴40年に達した会員(4名)

安部 千春	黒崎合同法律事務所	北九州
中島 弘道	(有)メガネの視正堂	筑紫

山下 広己	山下木工	東
森尾 恵	(有)サクセスプライス福岡	北九州
納富 明	司法書士納富明事務所	玄海
宮崎 勝美	宝栄運送(株)	かすや

横山 英宗	(有)Makefast143福岡オフィス	南
山内 英樹	山内英樹税理士事務所	北九州
古川 淳一	(有)ニッコロ・ネット	博多
金川 俊一	(株)ビッグロード	東
本山 清紹	(株)ピクトコム	南
渡木 繁	(有)コスモライフ	福友
田淵 知宏	たぶち動物病院	北九州
川上 哲	(有)三和商会	西
松尾 浩充	トキワ工業(株)	西
伊原由美子	(株)アンサーンプル	東

井上 寛司	井上自動車(株)	玄海
篠崎 捨男	(株)ワールド保険センター	東

吉田 和美	エコーテクノシステム(有)	ひびき
別府 茂喜	別府建設(株)	東
阿部 晴樹	(有)和光研磨	北九州
比地美枝子	(有)大河	南

伊藤 博城	(株)ヒロテック	東
三村 聡	(有)アイムス	中央
吉原 勝己	吉原住宅(有)	南
時枝 寛	(株)コミブラ	南
長崎 洋也	三興バルブ継手(株)	玄海
田村 信之	(株)田村乳業	久留米
石村 茂作	レプロイシムラ(株)	久留米
村山 重廣	福岡マリンサービス(株)	福博
平尾 繁登	(株)島鉄工所	久留米

### 増強表彰

(敬称略)

#### 個人表彰1名

(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員)

氏名	事業所名	所属支部	推薦数
月山 貴幸	Sarto Azzurri	大牟田	6

#### 支部表彰(会員増強最高の支部)

入会数(支部で紹介いただいた新会員数)	福友支部	26名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)	ひびき支部	17.4%
純増数(支部で期首より増えた会員数)	南支部	10名
純増率(純増数を期首会員数で割った数)	ひびき支部	10.1%

### 2021年度役員

(敬称略)

役職	支部	氏名	事業所名
理事	東	眞鍋 志郎	(株)サンビニール
	福博	高谷 幸一	(株)ユニティ
	福博	原田 智香	三和浄水(株)
	博多	豊島 圭	不動産の窓口(株)
	中央	黒岩 幸子	創伸テクニカルサービス(株)
	西	花田 理恵	(株)サワダ
	西	末竹 哲	(有)日研
	南	新内 一秋	(株)筑紫工業
	南	中山 英敬	(株)ヒューマンライフ
	南	貞兼 朋記	(株)ルックルック
	南	北原 正	社会保険労務士法人 COMMITMENT
	南	栗山 浩	(株)アーキテックス
	筑紫	森 茂博	和新工業(株)
	筑紫	石内 雅盛	(株)レイオホープ
福友	山田 秀樹	日本ビルケア(株)	
福友	森 慎吾	(株)アル・ツーエス	
青年	渡邊 慎也	(株)キャッスルハウス	
玄海	家迫 崇史	(株)丸屋	
かすや	田浦 通	(株)シティーライン	
かすや	古澤 正也	(有)寿モーターズ	
糸島	草野 将	(株)まちのえき	
北九州	坂本 敏弘	計測検査(株)	
北九州	松木 祥也	(株)松木工務店	

役職	支部	氏名	事業所名
理事	北九州	浮城 守	浮城興産(株)
	ひびき	市丸 皓士	(有)ファイン
	ひびき	小林 正広	(株)上津役製作所
	ひびき	宮野 甲介	(有)宮野建築
	のおがた	志柿 明子	(有)アサップ・ASAP 動物病院
	のおがた	小屋根雄作	(有)丸憲製作所
	飯塚	鶴田 和寿	コースイ(株)
	飯塚	有田 栄公	(株)アブリップリ
	飯塚	須堯 正彦	(株)液化ガス
	田川	堀 弘道	(株)さくらトータルライフ
	田川	荒川 雅光	(有)英設備工業
	久留米	鍵田 康策	(株)大丸眼鏡商会
	大牟田	久保田 洋	(有)ユー自動車
	有明	竹下 政敏	竹下産業(株)
有明	福田 秀一	(医)福田病院	
りょうちく	内野 克彦	やわらか製作所(株)	
—	川畑 義行	(一社)福岡県中小企業家同友会	
—	坂田いずみ	(一社)福岡県中小企業家同友会	
監事	のおがた	中村 高明	(株)紀之国屋
	東	山本 修二	福岡会計事務所
	東	光本智恵子	(株)すこやか工房



第59回 定時総会 基調講演ダイジェスト

# With/Afterコロナ時代の 企業づくり・地域づくり・同友会づくり

## 企業づくり

私は昭和42(1967)年、出雲市で生まれました。007のジェームス・ボンドにあがれて公安調査庁に入庁し、様々な調査を担当しました。信条は「先憂後楽」。「常に民に先立つて国のことを心配し、民が楽しんだ後に自分が楽しむ」という意味です。

想像どおり刺激的な公安調査庁での仕事に満足し、次は、「ふるさと島根を明るくする」と決め、平成4(1992)年、25歳のときに、「ホテル王」を目指して、地元老舗ホテルにUターン入社。同時に、個人事業として松江市内で飲食店(スナック)を開店し、パラルキャリアを実践しました。

二足の草鞋を履き、ビジネスチャンスを探しました。ママさん顧客の愚痴の中から、「お母さんも当たり前前に働くこれからの時代では、外食でもない内食でもない『中食』に商機があると確信しました。」

そして平成8(1996)年、持ち帰り弁当ほかほか亭のフランチャイジーとして開店しました。型に嵌らない私は、さっそく、日本で初めてとなる温かいお弁当のデリバリーサービスを構築・実践しました。フランチャイズ本部からは規則違反だと糾弾されて契約解除通告を受けたものの、半年後には全国3400店舗の頂点、売上高日本一を達成しました。

事業経営は順風満帆に行くわけもなく、平成15(2003)年、売上至上主義店舗舗拡大にも限界が訪れました。そんな中、エリアフランチャイザーとして地域本部昇格のお誘いを頂いたのですが、既にファミリー客の減少や高齢者からの宅配受注が増加しているデータを得ており、ロードサイド型店舗の時代は終焉すると判断し断ることにしました。

平成16(2004)年に、安否確認付き在宅高齢者弁当配食サービス事業を立ち上げました。ほかほか亭の弁当宅配の延長線上で始めたこの事業は、「冷たく

なっている人(孤独死)を発見する」過酷な現場でした。初めての遭遇時には、その責任の大きさに事業撤退を真剣に考えました。しかし、東京から急遽戻られた息子さんから頂いた「モルツさんが居てくれなければ、今の私の生活は壊れていただしよう。今まで支えてくれてありがとう」という一言で、自社の役割、仕事に誇りを持つことができるようになりました。そして、高齢者、ご家族様お一人お一人の尊敬、生活を守り、最後まで寄り添い続けることこそ、地域を守ることであり、モルツウエルの使命だと確信しました。

思いだけでは持続可能な事業に育つことはないと考え、全国展開を決意しました。弁当は消費期限6時間と短いため、商圏は半径15kmに限定され、生産性も上がりません。そこで、調理法を変更することで消費期限14日まで延ばし、真空パック加工にすることで、商圏は北海道から沖縄まで拡大しました。そして、食材だけでなく、人材不足に悩む介護施設厨房の課題

を長期的に発揮できる、私たち中小企業は強い。With/Afterコロナの中小企業は人材確保の大チャンスです。コロナによってDXが進み、不要となった要員は配置転換を余儀なくされます。しかし、最も困難なものは、人材の転用です。今後、間違いなく大手企業からの人材流出が加速します。このチャンスを中小企業は活かしていきましょう。

見えました。

また、震災直後、「物流が止まれば、生活が止まる」という厳しい現実を目の当たりにし、物流の重要性を強烈に感じました。島根半島に所在する美保関町は過疎地域に指定されています。点在する漁村にも独り暮らしの高齢者がたくさん住んでいます。このエリアを商圏としている配食業者は弊社しかありません。何故なら不採算だからです。弊社が諦めれば、多くの高齢者がそこには住めなくなり、まさに、弊社の諦めが、じいちゃんばあちゃんへの「ふるさとを奪う」ことになるのです。

「止まらない物流」をつくるのが、ふるさとを守ることに直結すると確信し、買い物弱者支援事業を立ち上げました。配食サービスと一緒にできることは何でもします。買い物代行、生活支援、御用聞きや町内会の困りごとコールセンター、ライドシェア、共同物流などに挑戦を続けています。

今般のコロナ・パンデミックは、縮小日本列島の時計の針を少しだけ早めただけです。予測不可能な現代は、「正確性」を求めても意味はありません。中長期的な視点で、明確なビジョンを掲げ、社員の「腹落ち」、「納得性」を高め、内発的意欲を高めることが最も重要です。

大企業にはイノベーションは起こせません。なぜなら、大企業のプロ経営者の任期は2期4年、イノベーションには10年かかるからです。その反面、強力なリーダーシップ

## 地域づくり

「ふるさと守り」のためには若者の力がどうしても必要です。その若者を惹きつけるためには、魅力ある企業づくり、同友

会が増えています。地域に危機意識を持つ経営者が多く、自主・民主・連帯の精神や、他社の経営体験を学び、自社で実践し、仲間をリードバックする同友会に期待が集まっているのだと思います。高齢化や若者流出など、同じ危機意識を共有する仲間だからこそ、他の経済団体や、立場が異なる行政や大学、支援機関とも大変良い関係を構築しています。

## 同友会づくり

島根同友会では、設立以来18年絶えず会員が増えています。地域に危機意識を持つ経営者が多く、自主・民主・連帯の精神や、他社の経営体験を学び、自社で実践し、仲間をリードバックする同友会に期待が集まっているのだと思います。高齢化や若者流出など、同じ危機意識を共有する仲間だからこそ、他の経済団体や、立場が異なる行政や大学、支援機関とも大変良い関係を構築しています。

「ふるさと守り」のためには若者の力がどうしても必要です。その若者を惹きつけるためには、魅力ある企業づくり、同友

会づくり、地域づくりをしなければなりません。

私は、同友会と並行して、雲州志士会というコミュニティを運営しています。雲州志士会から同友会へ、同友会から雲州志士会へと、相互に仲間づくりを繰り返して、結果、会員を増やし続けています。行政、教育機関、経済団体、そして市民を「ふるさと守り」の理念で大同団結させ、地域イノベーションを興すことを目指しています。「ふるさと守り」に何が必要か?と問われれば、「変態・外愛」の三つを説きます。「変態」こそ、次代が求める貴重な人材。常識にとらわれず、信念を持って、ふるさとのために圧倒的な努力を惜しまない人。そして、思い切つて会社やコミュニティ、地域を飛び出して「外」に出ること。何よりも、家族、社員、仲間、ふるさとを心から愛すること。

人は、魅力的な人のもとに集まります。企業づくり、同友会づくり、地域づくりのいずれも、「人づくり」が重要です。魅力的な人がたくさんいる会社、同友会、地域は強いです。

人づくりには、人が育つ苗代、土が重要です。私たち経営者は、強いリーダーシップで自社や地域を牽引すると同時に、「土になる覚悟」を持って、若者たちを育てましょう。この人づくりの循環こそ、私たち地域中小企業経営者の「固有の役割」ではないでしょうか。



NOTSU TSUMORU 野津 積 氏  
モルツウエル株式会社 代表取締役  
(島根県中小企業家同友会 代表理事)

モルツウエル株式会社  
住所/島根県松江市黒田町454番地3  
創業/平成8年11月  
設立/平成9年11月  
従業員/136名 ※常勤役員3名、正社員29名、パート104名  
事業内容/1. 高齢者施設向け調理済み食品製造販売  
2. 在宅高齢者弁当配食サービス  
3. 買い物生活支援、ロジスティクス  
4. 高齢者施設の厨房運営受託



# 2021年度 運動方針

## 激変の時代、 全社一丸の経営を！

世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、深刻な影響を受けています。日本においても、コロナによる二度の緊急事態宣言が発令され、あらゆる場面に厳しい影響が出ており、多くの中小企業がかつてないほどの困難に直面しています。この状況が長期化すれば企業の倒産や廃業が増え続け、中小企業にとっても国内経済にとっても過去経験したことのない甚大な影響が懸念されます。

さらに、昨年発足した新政権の成長戦略会議において、労働生産性の観点からのみ捉えた中小企業の整理淘汰による再編論が議論に上がっています。中小企業は多すぎるのか、生産性を向上させるにはどのようにすれば良いのか等の議論について真剣に考え、このような時こそ同友会らしく、社員の創意

や自主性が十分に発揮できる働きがいのある職場環境をつくり、労使見解に基づく人間尊重の経営を実践することが重要です。

このほかにも、さまざまな構造的問題を抱えています。これらの問題を克服するために、中同協が発表した「中小企業の見地から展望する日本経済ビジョン」、またそれを実現するための「同友会運動の将来展望」は、我々がめざす国の姿であり、同友会運動のめざす到達点です。しっかりと会内で学び、共有しましょう。

加えて、我々がこれまでに進めてきた「中小企業憲章」の前の冒頭に掲げてある「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。」という認識に誇りを持ちつつ、中小企業を持つ役割を広く伝え、また、

自分たちも地域から必要とされる企業となるべく付加価値を上げるなどの企業づくりと地域づくりを進めることが必要です。またその仲間を増やしていくことがより一層求められます。

福岡同友会は、2023年に創立60周年を迎えます。そして、今年度は第7次の「2030ビジョン」のスタートの年となります。今年度も引き続き「永久劣後ローン融資制度の創設」を求める運動と、会員交流を促進するための活動を継続していきます。この激しく変わりゆく時に、「企業経営と同友会運動は不離一体」として、学びを止めずに全社一丸の経営を実践し企業変革に挑戦しましょう。以上のことを踏まえ、福岡同友会は、2021年度の運動方針を策定し、要点を以下に記します。

### 2021年度の方針の要点

- 1 全社一丸で経営指針の作成・見直しと実践を**  
激変の時代を乗り切るために、社員と現状を分析して危機感を共有し、経営指針の作成・見直し等を行い、全社一丸で経営指針を実践しましょう。
- 2 社会・経済活動の激変に対応し先を見据えた経営を**  
自社の強みや存在意義を見つめ直し、経営環境の変化を捉えた事業戦略のもと、全社一丸で企業を維持・発展させていきましょう。
- 3 企業永続のための財務対策・資金手当てに全力を**  
資金繰りや雇用維持対策など、先輩経営者の経験や知恵に学ぶ環境をつくることともに、支援策等の活用を進めましょう。
- 4 企業・雇用・地域を守る**  
「絶対に雇用は守る」ことを宣言し、社員の信頼感と安心感を高めましょう。そして、企業が存続するために経営を維持・発展させていく活動に取り組み、地域を守りましょう。
- 5 一人で悩まない・同友会活動を止めない**  
対面やオンライン上で細やかな会員間の交流や声の掛け合いを続けることで、連帯感が高まり一人で悩んでいる経営者の励ましとたすけあいにもつながります。そして委員会や例会・学びの集大成である経営者フォーラム等に参加して学びを続けることで自社も成長しつつ、新しい仲間とのつながりをつくりましょう。

### 【企業（ひと）】

いかなる環境変化にあっても創意工夫と強い覚悟を持って自社を維持発展させる

外部環境の変化を的確に捉え、自社の現状を分析把握し、将来に向け自社の強みを生かした事業を確立しましょう。

#### 全社一丸の経営実践

労使見解に基づいた経営指針を社員とともに作成、あるいは早急に見直し、全社一丸で経営指針に基づいた経営を実践しましょう。

#### 1 経営姿勢を確立し、「人を生かす経営」の実践を

①あらゆる活動の場面で「労使見解」を学ぶ場を作り、経営者の経営姿勢を確立します。また企業内においても同様の学ぶ場をつくり社員との信頼関係を深めます。②労使見解に基づき社員と一体になった「人を生かす経営」の総合実践に取り組みます。

#### 2 経営トップの率先垂範で、全社一丸で経営指針の見直しを

①経営指針をコロナ禍からの復興計画とし、時代変化、外部環境の変化をとらえ、将来を見据えた現状打破の経営方針、経営計画を策定します。②経営指針の成文化（全社体制での実践）企業変革支援プログラムで成果の検証と改善をするPDCAサイクルを回し、成果を伴う具体的な行動を実践します。

#### 3 財務対策・資金手当ての強化を

①貸借対照表の資産内容を見直し、ムダな資

産の削減でスリム化するとともに利益確保を目指し、自己資本の充実を図り強い財務体質をつくりまます。②不況の長期化、金融環境の悪化を予測し、金融機関との信頼関係を築き長期的資金繰りを検討します。③経営者と社員が共に数字を読むスキルを身に付け、課題の共有と解決に取り組みます。

#### 4 広い視点で新たな仕事づくりを

①IT化、WEBメディアの活用を推進し、消費動向が変化し多様化するニーズを捉え、新市場・新規事業による事業領域を模索します。②人口減少社会に向かい、新しい真のニーズとなる「豊かな楽しい体験感動」という「コト」の提供で、付加価値の創出企業を目指します。③将来、経営課題となる環境問題に対応するため、経営指針にSDGsの取り組みを掲げ、環境経営を実践し、社会貢献と新たな仕事づくりを目指します。

#### 5 働き方改革を推進し、働く環境の改善を

①自社の人時生産性の目標を管理し、全社一丸で生産効率を向上させます。②時間外労働に目を配り、適正労働時間を遵守するなど、労働環境の改善を進め社員満足と定着率の向上を目指します。③労働契約社内規定を整備して、対等な労使関係を構築します。④副業・時短など選択肢のある働き方を考察し、活気に満ちた企業風土を確立します。⑤バリアフリーやジェンダーギャップの解消に取り組み、働く人の多様性を推進します。

### 【地域（まち）】

⑥採用と共育の推進、及びBCDの策定を

①労働人口の変化を予測した採用活動に取り組み、共育をする企業風土を醸成し永続する企業を目指します。②事業承継に向けた後継者候補を育成し後継者問題に対応します。③BCPを策定しステークホルダー及び社員の雇用を守り、企業継続の社会的責任を果たします。

地域づくりとは、地域を牽引する企業づくりであり、地域社会のリーダーとなる同友会づくりです。企業が経営を継続するには、地域が元気でなければなりません。その手法が振興条例の推進です。地域が元気になるには、地域に残ってくれる若者が必要です。その手法がキャリア教育です。よって、企業が存続するためには、①振興条例の推進と②キャリア教育が大切です。地域づくりは、この二つの課題に取り組んでいきます。

中小企業憲章・中小企業振興条例を広め、地域の課題を解決するプラットフォームの構築を推進する

同友会が推進し2010年に閣議決定された中小企業憲章は日本中へ波及し、各地域で振興条例がどんどん制定されています。振興条例のもと、SDGsやエネルギー分野を学び、各地域での課題を解決するプラットフォームを学び、各地域を広め、各地域が持続可能な地域となるように目指し活動します。

地域で若者を育てるキャリア教育を実践し、

職業観・労働観や中小企業の魅力等を伝える活動を通じ、地域企業としての役割を自覚して地域から必要とされる企業へ

持続可能な地域をつくるために最も必要なのは、地域で活躍する若者を育てることです。キャリア教育を通じて若者に職業観・労働観や中小企業の魅力を伝え、目標を持つた若者が地域で活躍し元気になる、キャリア教育を実施する中小企業が元気になる活動を推進します。

#### 1 会員企業は地域を牽引する企業であり、地域になくってはならない企業であり、同友会は地域社会のリーダーとなる活動を

①会員企業は、各地域を牽引して地域から必要とされる企業となる。振興条例の推進やキャリア教育を実施するには、まず必要なのは理念・ビジョン・方針・計画を持ち経営指針を実践する企業でなければなりません。そのために必要なことを企業づくり・同友会づくりと共に連携して、地域から必要とされる企業であり同友会となる活動をすすめます。

#### 2 中小企業憲章の精神、中小企業振興基本条例の意義、中小企業の魅力を広める活動を

①6月・7月の条例推進、中小企業魅力発信月間において勉強会を実施します。②中小企業魅力発信月間において、社員と共に中小企業の存在価値を広める活動をします。③行政・金融機関・教育機関・他団体と連携し、振興条例やSDGs、エネルギー分野を学びます。また、各地域で提携団体等との関係を強固なものとし、



共に連携し地域発展につとめる活動をします。

**3** 中小企業振興基本条例の制定運動や振興条例を生かした事例を県内へ広める活動を

**1** 県内で振興条例が制定されていない地域への振興条例制定推進運動に取り組みます。**2** 振興条例を生かした取り組み事例を県内へ広め、生きた振興条例の取り組みを広めます。**3** 振興条例の中で、産業振興会議の設置を推進して、地域の企業や行政金融機関教育機関等が連携し、主体性を持って地域の課題に取り組むプラットフォームの構築を広めます。

**4** 行政との関係づくりを行い、福岡県や国に対しての政策要望提言を行う活動を  
**1** 景況調査を実施して、地域や企業での景況や課題等を調査分析します。**2** 景況調査結果や情勢分析から課題を抽出し、県内各企業において共有し各方針へと繋げる活動を行います。**3** 景況調査結果や会員からの意見をまとめ、福岡県や国へ政策要望提言を行います。

**5** 各地域で教育機関との関係づくりを行い、キャリア教育を実施する活動を

**1** 地域企業として、地域の若者を育てるキャリア教育をするために協議を重ね、キャリア教育について県内で統一した教育ができるためにフォーマット(手引き書等)を作成します。**2** 会員企業へ、インターンシップ(就活が目的でないインターンシップ)の受け入れを要請し、キャリア教育が社員教育でもあることの意義を伝えます。**3** 教育機関との関係づくりを行い、新しいキャリア教育を構築します。会員企業

が地域の若者へのキャリア教育を通して地域から必要とされる企業であり、地域を牽引する同友会となる活動を行います。

**6** 21世紀型中小企業づくりで「日本経済ビジョン」の共有を

**1** 中同協から提案された「日本経済ビジョン」を学び実現に向けた取り組みを行います。**2** 会員企業が「21世紀型中小企業づくり」に取り組みながら地域で仕事と雇用をつくり、自ら景気をつくる気概を持ち、1社1社が中小企業発展のモデルとなっていくことを目指す活動を行います。

**【同友会へ向けて】**

「コロナの影響長期化と次代を見据えた同友会活動の形をつくる」

コロナの影響長期化に対応するための最重要対策は、労使見解に基づく経営指針書の見直しと実践です。支部活動から増強に至るまで、ITを活用して新たな同友会活動の形をつくり、経営指針書の作成と実践を強化し、魅力ある同友会にしましょう。

**1 役員育成の強化を**

**1** 支部・地区の運動を活性化するため、研修を企画し実践します。(1)新会員フォローアップセミナーの開催(北九州・筑豊・東・南でも年1回の開催)(2)あすなろ塾の開催(3)経営指針作成セミナーの開催(4)経営者基礎講座の開催**2** 役員育成に向けて「同友会の歴史と理念」「役員の意味と役割」を明確にした役員研修

大学を開催します。**3** 第36回中同協役員研修会(福岡)を設営します(2021年10月予定)。**4** それぞれのステージにあった研修の体系化を作成し実践します。

**2 地区支部委員会活動の活性化を**

**1** 不離二体シートを活用し、同友会での学びの実践報告に重きをおいた例会づくりを推進します(例会)づくり研修会の開催。**2** 支部で経営課題を発見し、委員会での具体的な解決策を学び、自社で実践します。この流れを全県で推進します。**3** 部委員会では、労使見解に基づいた実践重視の活動計画を策定します。**4** 部委員会で情報交換を行い、横のつながりを強くします。**5** 部委員会の魅力が支部や会員に伝わるよう企画し広報します。

**3** 「危機の時こそ同友会」孤獨な経営者をなくす仲間づくりの推進を2021年度目標とします

**1** 支部・ブロック会及び経営相談室を活用し、本音で経営談義ができる風土を徹底してつくります(知りあい、学びあい、助けあいの実践)。**2** 支部やブロック会での経営談義から、部委員会への参加を促進します。**3** 全県開催の知る会をブラッシュアップし定期的に開催します。**4** 全県知る会後、参加したゲストの支部内でのフォローを徹底します。**5** コロナ対策やWE Bの活用などあらゆる手段を使い、会員同士のコミュニケーションを継続し、学びを継続します。

**4 会員企業の実態把握と対外広報の強化を**

**1** 同友会運動の進捗を知り今後の活動に生かすために、会員企業の実態調査をe-doyuなどを活用して行います。**2** 景況調査や各種アンケートの重要性と意義を伝え回答率を上げます。**3** 他団体や産官学金「コミ」など同友会運動を積極的に発信し、地域への認知度向上を図り会員増強につなげます。**4** SNSをはじめとした広報のルールを取り決め運用します。

**5 財政の健全化を**

**1** 様々な環境変化に対応し、同友会運動を継続的に発展させるため、財務基盤の強化を目指します。

**6 事務局機能の強化と職場環境の改善を**

**1** 事務局員と会員が相互理解をしながら、同友会運動を進めます。**2** 事務局員が成長し、仕事に誇りとやりがいを感じる職場環境の改善を図ります。

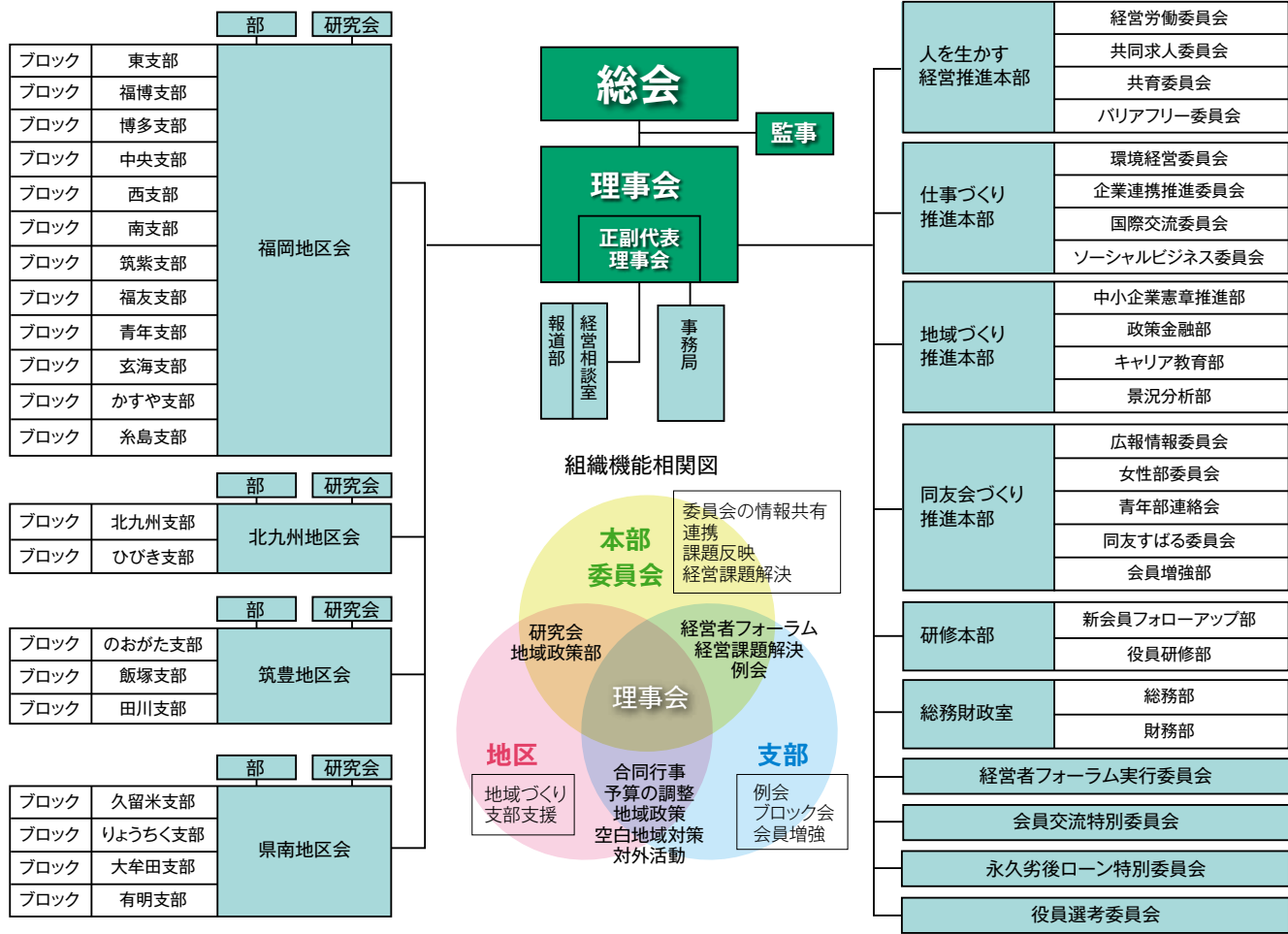
**7 災害等への対応の準備を**

**1** 「小さな同友会でも対応できる万能型BCP策定の手引き」の勉強会を実施し、会員企業にBCP策定を呼びかけるとともに、福岡同友会のBCPを検討します。

**8 福岡同友会60周年に向けての準備を**

**1** 福岡同友会60周年実行委員会を設置し、周年行事の企画などを進めます(2023年)。**2** 中同協女性経営者全国交流会(2023年6月)設置の準備を進めます。

2021年度組織図



理事会だより  
一般社団法人福岡県中小企業家同友会  
2021年度第1回理事会

日時 2021年5月26日(水) 14時30分~17時11分 会場 WEB会議システム「Zoom」にて開催  
出席 41名(出席率93.2%) 議長 坂本 敏弘(副代表理事)

- 1 2021年度にむけて**  
● 第59回定時総会の振り返りを行いました  
緊急事態宣言の発令により嘉穂劇場には正副代表理事のみ集まり、開催の様子をYouTubeで配信した。YouTube視聴者数は基調講演で107名、議案審議に99名が参加。
- 2 規程見直しプロジェクトの進捗状況について**  
● 規程見直しの工程表が出された  
これまで理事会で定款の変更が行われてきたが、組織運営規程に反映されていないものがあるため規程を見直している。6月理事会では過去の理事会で変更が承認された規程を反映したものを提案する。12月以降の理事会では全般的な見直しを行なった規程を提案するので意見を頂きながら整理する。
- 3 各地区より報告**  
● 福岡地区会より  
地区行事の開閉成務塾は今年度より「共育セミナー」に改名して福岡市より後援を頂いて開催する。  
● 筑豊地区会より  
あすなろ塾の企画について福岡地区と筑豊地区では運営が異なる。福岡地区はZoomで開催するが、筑豊地区は時間を短縮して対面開催及び短縮した講義の動画配信を予定している。
- 4 会員企業の動き**  
● 経営革新計画承認企業 2021年4月(県22件/うち同友会会員・企業2件)  
・(株)Q太郎フーズ 鈴木 起史 氏(福友支部)  
〈テーマ〉非公開  
・アドバンストーヨー(株) 星 武 氏・木村 浩二郎氏(ともに北九州支部)  
〈テーマ〉高性能住宅からリフォーム物件まで  
小規模工務店のワンストップ支援  
※累計で福岡県全体では7,979件、会員企業は延べ520件です。

理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にて御覧下さい



**あすなろ塾** **筑豊地区**  
7月3日(土) 9:00~13:30  
■ 飯塚研究開発センター 飯塚市川津680-41 ☎0948-21-1150  
『あすなろ塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。

**6火** 18:45~20:30 **西支部 7月例会**

**サマークリスマス例会(ソーシャルディスタンス運動会)**  
■ 照葉積水ハウスアリーナ 福岡市東区香椎照葉6-1-1 ☎092-410-0314  
昨年12月例会が延期となり、会員同士のイベント交流が行えない状況が続いています。今回こそは充実した広い設備の中で、ソーシャルディスタンスを保ちながらのびのびと身体を動かし、久々に会う会員同士で近況報告等を語りながら、楽しく交流を行うことを目的に例会を企画しました。充分な感染対策講を講じた上で運動プログラム等企画しています。※緊急事態宣言等により対面活動が禁止された場合はオンライン例会に変更予定

**事業承継塾** **第2講**

**社員から経営者への道 7月10日(土) 14:00~17:00**  
■ 電気ビル本館地下2階 カンファレンス8号  
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル本館 ☎092-714-5743  
■ 前田 努氏 ヘルテクネ株式会社 代表取締役社長 福友支部  
昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。いかにスムーズに受け継ぐことができるか、社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があると考えます。承継するにあたって必要になる手続きや知識、心構えを学び、企業づくりに役立てるため、共に学びましょう!  
■受講料:2,000円 ※新型コロナウイルスの感染状況によってはZoomでの開催に変更する場合があります。

**15木** 18:30~20:30 **福博支部 7月例会**

**あなたの夢をかなえる事業再構築補助金を学ぶ**  
■ 天神チクモクビル 大ホール 福岡県福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250  
■ 工藤 芳純氏 ワイズ・サポート 中小企業診断士 福博支部  
皆さんは、前日からこんなことしてみたくったとか或いはこんな事業やったら面白いやないかと考えたことはありませんか。その夢をかなえるチャンスがやってきました。菅政権が1兆円超える予算を用意して事業再構築補助金(事業再構築とは飲食店がテイクアウト販売、ヨガ教室がオンラインでの教室の運営など)を用意しています。コロナ禍後を見越して事業に大胆に見直してみませんか。

**15木** 18:00~20:30 **中央支部 7月例会**

**ピンチの時こそ得るモノが多い**~学びを通じて高めた先読み力~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+Dress WEDDING AND PARTY 福岡市中央区西中洲11-21-2F ☎092-725-7758  
■ 井上 真一氏 株式会社大匠建設 代表取締役 博多支部  
同友会における多くの経営者との関わりの中で培った先を見る力と学びの実践、新型コロナにも動じない強力な組織力。企業経営と同友会での学び「不離一体経営」報告です。

**15木** 18:20~20:50 **筑紫支部 7月例会**

**未来へ受け継ぐ技術 社員と共に成長する企業へ**  
■ 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535  
■ 中村 正昭氏 株式会社中村タイル商会 代表取締役 福友支部  
社員の一言から一念発起し、新卒採用に力を入れてきた中村社長。未来への先行投資と捉え、責任と覚悟を持って採用活動を続けています。固定概念を払拭することで見えてくるものは?実践中である共有の考え方と合わせご報告いただきます。

**15木** 18:30~21:00 **福友支部 7月例会**

**震災から10年。**~危機を乗り越え企業永続に向き合い続ける経営者の挑戦。~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+WITH THE STYLE FUKUOKA 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941  
■ 柳沼 広呂氏 株式会社宝来屋本店 代表取締役 福島同友会  
柳沼さんは明治39年創業の4代目として、味噌・甘酒・漬物調味料などの商品開発、製造をされています。同友会に入会して5年後の2011年、東日本大震災を経験されます。本例会では、柳沼さんの経験を通じて、自然災害の危機を乗り越え企業永続に向き合い続ける経営者の姿勢を学びます。

**15木** 18:30~21:00 **ひびき支部 7月例会**

**元気で活発なひびき支部へ** ~12名の新会員を迎えて~  
■ リンドマール 北九州市八幡西区東神原町2-23 ☎093-642-3659  
第1部では、落語家 橋家文太氏の落語を鑑賞します。  
第2部では、2020年に入会した12名の新会員と2021年度の新役員をご紹介します。

**15木** 18:30~21:00 **田川支部 7月例会**

**深めよう!人を生かす経営~よい会社をつくろう**  
~人を生かす経営の実践報告~  
■ たがわ情報センター 田川市番田町2-1 ☎0947-49-3220  
■ 貞兼 朋記氏 株式会社ルックルック 代表取締役 南支部  
同友会活動のなかで人を生かす経営というワードをよく耳にします。しかし、人を生かす経営とはなんなのか、なぜそれが必要で、どう実践したらよいのか、わからない会員も多いのではないのでしょうか。そこで今回は実践報告を聞き、経営者として今一度人を生かす経営の理解を深め、自社に持ち帰り実践するための学びの場とします。

**15木** 18:30~21:00 **りょうちく支部 7月例会**

**集客の本質を知ろう!**~職人気質な経営者を脱皮する営業の仕組み化~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+新鶴温泉 泰泉閣 朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140  
■ 森田 俊康氏 株式会社フイコ 代表取締役 博多支部  
コロナ禍の逆風をはねのけ、業績を伸ばしている会内企業から、営業に関する報告をして頂きます。見えない苦労や、逆境に打ち勝つ工夫、現状の段階までに至った過程等を実践経験ならではの体験報告を聞くことで、今後の市場環境にマッチした営業展開の可能性を考えます。

**16金** 19:00~21:00 **青年支部 7月例会**

**同友会(青年支部)を知ってもらう会**  
■ ザ・ライブリー 福岡市博多区中洲5-2-18-2F ☎092-262-2009  
■ 酒井 健志氏 株式会社キャプテンダイニング 後継者 青年支部  
■ 木原 洋憲氏 株式会社ABA STAFF 取締役 青年支部  
■ 松本 基氏 土地家屋調査士松本基事務所 代表者 青年支部  
今回お話しする報告者の方々には同友会青年支部がどんな所かをより具体的に報告して頂きます。株式会社キャプテンダイニングの酒井さん、株式会社アパスタッフの木原さん、そして土地家屋調査士の松本さんの3名です。現役会員の3名がそれぞれの立場から同友会が自分にとってどんな場所なのか、また自分ごとの様に関わって会活動を行っているか、会社がどの様にならったのかなど、三者三様の観点から自社の企業報告に加え良い事、悪い事も含め赤裸々にお話頂きます。

**16金** 18:30~21:00 **のおがた支部 7月例会**

**常識を疑い、チャンスをつかめ**~企業発展における重要な視点~  
■ エクセレントガーデン 直方市頓野4069-9 ☎0949-26-8808  
■ 中山 将太氏 有限会社クリエイトホーム 代表取締役 のおがた支部  
様々な外部環境の変化により従来までの経営方針で乗り越えていくのは難しくなりつつあります。事業領域を取捨選択する上で、先を見据えたビジョンは大変重要となります。どのタイミングで決断し、何を思っで展開していくのか。柔軟な発想と迅速な行動。それらの具体的な内容について語って頂きます。

**16金** 18:30~21:00 **久留米支部 7月例会**

**未定** ■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
■ 空閑 重信氏 株式会社ちくぎん地域経済研究所 代表取締役 久留米支部  
新型コロナウイルス感染症により、世界が一変しております。我々経営者はこの中、既存の顧客を維持し、新規市場を開拓することで会社を存続させ、さらに発展成長させなければなりません。営業方法もコロナ以前とは変化していると思います。報告者の営業活動を自社に当てはめ、この困難を乗り越えるきっかけにしましょう。

**あすなろ塾** **福岡地区**  
7月17日(土) 9:00~16:30  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
『あすなろ塾』は同友会における経営指針の基礎知識を学習する1日セミナーです。当日は、経営指針の全体像を理解し、経営理念の作成を目標に参加していただきます。

**中小企業魅力発信月間 大勉強会**

**同友会は、なぜ中小企業憲章を推進しているのか!?**  
~そもそも同友会とは何を目的として運動してきたのか?  
その目的が、なぜ憲章運動へとつながっていったのか?~  
7月19日(月) 14:00~17:30  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+中小企業振興センター301会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15-3F ☎092-622-0011  
■ 国吉 昌晴氏 中小企業家同友会全国協議会 顧問  
同友会の歴史と理念の基本運動から中小企業憲章推進運動へと、どのように繋がっていったのか。福岡同友会役員だけではなく、広く各支部の会員の方々にも参加して頂き、同友会の歴史と理念を学び、自社の発展へとつなげられる学習会とします。必ず参加して良かったと思える学びとします。同友会の語り部の国吉さんから同友会歴50年の見地からお話しいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

# 7月の行事案内

**20火** 18:00~21:00 **東支部 7月例会**

**会社の寿命!?**~その時、あなたの会社閉じますか?誰かに託して続けますか?~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+WITH THE STYLE FUKUOKA 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900  
■ 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長 のおがた支部  
会社を残すためにどう企業価値を高めるか、これは全ての会社の課題で、その先に事業承継があります。事業承継の最大の目的は社員の雇用を守りその家族を安心させることです。自社の企業価値を理解していますか?この例会が考えるきっかけになればと思います。

**20火** 18:30~20:30 **博多支部 7月例会**

**コロナ禍こそ団結を!! 博多支部納涼例会**  
■ 億上~OKUJYO~ 福岡市中央区渡辺通り2-9-1-4F ☎080-6469-4451  
会員同士、またゲストの皆さんと会歴や年齢を超えた付き合いで交流を深めましょう。参加費3,000円(ゲスト4,000円)

**20火** 18:30~21:00 **玄海支部 7月例会**

**ライブコマースにシフトチェンジして月商1億円!**  
~ITを取り入れた非対面営業について考える~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+天神ビル11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920  
■ 李 成倫氏 JTL株式会社 代表取締役 玄海支部  
コロナ禍で対面営業が難しいなか、ITを使ったライブコマースという営業スタイルが生まれ、アジアでは注目されています。対面営業を転換し、NHKにも取り上げられた李さんから体験談を語っていただき、日本ではあまり知られていないライブコマースについて学びます。さらに、私たちが取り入れることはできないか考える機会とします。

**20火** 18:30~21:00 **糸島支部 7月例会**

**「同友会活用のススメ」学びを深める例会のグループ討論**  
~成功のキーマン、グループ長を体験しよう!~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+前原公民館 福岡県糸島市前原東2丁目2-5 ☎092-322-2481  
※新型コロナウイルスの影響により、変更になる可能性があります。  
■ 仲西 勇人氏 株式会社仲電気工事 専務取締役 糸島支部  
例会は支部活動の主役です。その中のグループ討論は会員の学びに重要な役割を担っています。グループ討論の成功の鍵を握るのはグループ長です。グループ長の成長を促進する事で会員の成長・支部の成長に繋がります。参加して、グループ長、チャレンジしてみませんか?

**20火** 18:30~21:00 **北九州支部 7月例会**

**ウィズコロナ時代の新規事業創出**  
~未来に向けたわが社の事業戦略~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+小倉リーセントホテル 北九州市小倉北区大門 1-1-17 ☎093-581-5673  
■ 村田 一光氏 株式会社エスティーロ 代表取締役 北九州支部  
コロナ禍によって閉塞感が漂う中、大胆にして緻密な事業戦略を持ち新規事業を展開している村田氏にご報告いただきます。(働エスティーロの成り立ちから、いかなる戦略をもって成長を遂げてきたのか、報告から未来を見据えた事業戦略の必要性を学びます。

**20火** 19:00~21:00 **大牟田支部・有明支部 7月合同例会**

**経営指針書の活用と実践(仮)**  
■ 大牟田文化会館 大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131  
■ 田中 稔久氏 株式会社愛葉華 田中ファーム 代表取締役 有明支部  
経営指針書を作成、活用することで変化したのか?実践して当初からどのようにチェック、修正したのか?経営指針の必要、重要性を気付き、学びます。

**21水** 18:30~21:00 **かすや支部 7月例会**

**中小企業のIT管理により生産性と利益率アップ**  
~キャッシュレス化、DX時代を生き抜くには?~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎092-686-1234  
■ 鈴木 貴人氏 株式会社フリーランス 代表取締役 博多支部  
DXとはアナログからデジタル業務に変換して効率化をはかることです。ITを活用することで生産性や利益率の向上が期待できますが、二の足を踏んでいる方も多いと思います。鈴木社長のお話から中小企業でも取り組めるIT管理やDX化について学んでみましょう!

**26月** 18:30~21:00 **飯塚支部 7月例会**

**心にアイデアの卵を!**~事業継続は変化に対応できる知恵と行動力~  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
+パドドゥ・ル・コトフキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0120-225-138  
■ 稲葉 雄大氏 株式会社イナバ 取締役 久留米支部  
株式会社イナバは、手袋や5本指靴下の製造+加工と中国との直接貿易による卸売業及びインターネット通販を行う会社です。これまでもアイデアを武器に商品開発を行ってきました。2020年3月には新型コロナウイルス感染拡大に伴い「TEMASK(手マスク)」を開発し、翌4月からクラウドファンディングで発売し4~5月で1200万円の売上を達成しました。今回の例会では、稲葉さんの報告を通して変化に対応できる知恵と行動力を学びます。

**27火** 18:30~21:00 **南支部 7月例会**

**アフターコロナに向けての経営指針作成と同友会活動の実践**  
■ 天神チクモクビル 大ホール 福岡県福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250  
■ 金光 孝男氏 株式会社タガイト 代表取締役 南支部  
経営指針作成セミナーに参加し、自社経営の変化を体感し、南支部プロジェクトの同友塾やマーケティング講座を経てアフターコロナに向けて、新たな取り組みや事業の成長を実践されている方に既存会員や新会員が成長するために分かりやすくごなっていただ報告を行います。

**27火** 18:30~21:00 **FAST 7月例会**

**RPAを実践している事例報告(仮)**  
■ 振興センター  
■ 野下 主税氏 株式会社オルトロボ 代表取締役 南支部

**27火** 18:30~21:00 **女性部委員会 7月例会**

**SDGsの本質を理解する** ~2030SDGsカードゲーム~  
■ 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎092-686-1234  
■ 本山 晴子氏 有限会社コ・リード 代表取締役  
2021年度の女性部委員会では、SDGsを年間テーマに掲げて活動します。1年間の例会(7月~11月までの全5回に変更)を通して、SDGsを理解し、新規事業のミッションを定義し、SDGsへの貢献を考え、最終的にはミッションと経営理念を統合することを目指します。第1回目の内容は、カードゲームを使ってSDGsの本質を理解することから始まります。(参加費10,000円全5回シリーズ)

**新会員フォローアップセミナー**  
7月29日(木) 18:00~21:00  
■ 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎092-686-1234  
我々経営者には、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して経営を維持し発展をさせる責任があります。共に学び、従業員をパートナーとして知恵と力をひきだし、「自立型企業」づくりに取り組みましょう。そして、地域経済を支えるのは我々中小企業と自覚をもって共に進みましょう。このセミナーは、新会員の皆さんが同友会の基本理念や歴史をよく理解し、また同友会の基本的な活動を知っていただき、各支部での活動へスムーズに参加いただくために開催します。

**30金** 18:30~21:00 **環境経営委員会 7月勉強会**

**経営者に物申す**  
■ WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
現役世代と若者のSDGsなどの環境問題について意見交換を行う座談会を開催します!

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局まで  
願います。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

2021年6月号のP.14の6月22日(火)FAST6月例会の報告者の所属支部に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。  
■ 上田あい子氏 P&Cプランニング株式会社 代表取締役 福友支部  
■ 上田あい子氏 P&Cプランニング株式会社 代表取締役 福博支部





# 諸岡昭三郎氏 会歴 50年のあゆみ



文／求人ふくおか株式会社 貞池 龍彦 (中央支部)  
写真／株式会社ココスイメージ 富谷 正弘 (玄海支部)

全国に会歴50年を超える仲間は53名。諸岡さんはそのうちのお一人だ。よくよく考えると、会そのものが50年を超えてなければならない。北海道、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫そして福岡だ。長生きの家系に育ったという諸岡さんは昭三郎が示す通り昭和3年のお生まれ、現在92歳<sup>かしゃく</sup>で今もおお喜びとされている。本日はおよそ一世紀にわたる人生と半世紀の会歴をあますことなく語っていただいた。(2021年5月31日)

## ■ スクラップが物を言う同友会の足跡

まずもって広報一筋に関わってこられた諸岡さんの凄さは、A3のスクラップ4冊に整理された同友会の足跡だ。もともと絵を描くのが好きだった青年時代、絵画では飯が食えないと、当時、英字新聞を作る予定だった西日本新聞社に入社したが西日本パイレーツ(1年で消滅した球団)を持ったために英字新聞の発行はなくなった。春吉青年会という組織を結成していた諸岡さんは同志とともにストライキを決行。血気盛んだった諸岡さんは、その後も産炭地の組合の機関紙づくりに奔走し、後に設立する会社の前身となる活動を、森一作さんをはじめとした同志とともにやってきた。



## ■ 代表理事を2度務め、会員拡大に尽力

1957年に(株)九州機関紙印刷所を設立。企業の組合活動の機関紙づくりのお手伝いをしながら地域社会に根をおろしていった。2010年には秋好哲美新社長(ひびき支部会員)のもと、KOHO(株)と社名を改め近代化を促進した。同友会活動では1972年に北九州支部を設立、ご自身奔走された。1980年には原さん、安納さんと共に代表理事に就任し、会員拡大に力を注がれた。さらに1992年に矢頭さん、土師さんと共に2度目の代表理事を務められている。



## ■ 同友会での思い出は

当時の思い出は、香川で永年代表理事を務められた三宅さん(2018年8月永眠)と懇意にされたこと、福岡同友会では先輩の文田さんにお金、仕事、従業員対策等について指導を受けたことが強烈な思い出として残っている。限られた紙面では貴重な体験や思い出が伝えきれずとても残念だが、諸岡さんの人となりに断片でも触れていただけたと思う。



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会  
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

アンケートにご協力ください

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

回答締切 7月31日(土)

